

難病の子どもと家族の交流イベント 報告書

行 事 名	ふれあいまつり IN うりずん 2023
日 時	令和5年 10月 8日 (日) 10:00~16:00
場 所	認定特定非営利活動法人 うりずん 敷地内 (館内・館外)
行事内容報告	<p>【内容】</p> <p>1. 舞台発表</p> <p>11:00~ 開会式</p> <p>11:30~ とちぎ真岡笑いヨガクラブ様 Part I</p> <p>12:00~ 葵雅楽会様</p> <p>13:20~ 小さなサーカス団 たらったらった様</p> <p>13:50~ とちぎ真岡笑いヨガクラブ様 Part II</p> <p>14:20~ “ちょこっと “うりずんBand</p> <p>14:50~ 閉会式</p> <p>2. 館内体験イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トートバッグ作り ・バルーンアート (うしさん) ・フェイスペイント (たまちゃん) ・うちやりばちよーで一会 “最高得点を叩きだせ!!” <p>3. 県内事業紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人 DAIJI 様 ・特定非営利活動法人 マロニエハウス会 様 <p>4. 屋外遊びコーナー/模擬店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーボールすくい ・かき氷/わたあめ ・とくじらドック/おにぎり・やきそば おいなりさん・サターアンダギー <p>5. 販売ブース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パン販売 (KONOMI 様) ・ピザ販売 (Wildkitchen Kumakuma 様)
行事内容報告	<p>【参加人数】: 総数 235名</p> <p>利用者様、ご家族様: 175名</p> <p>ボランティア: 20名 (うち中学生3名)</p> <p>スタッフ: 33名 招待2団体7名</p> <p>【決算内容:(詳細は別紙決算報告書参照)】</p> <p>予算額: 970,000円 決算額: 977,952円</p>

<p>感想及び活用方法検討事項など</p> <p>(詳細は、スタッフアンケートまとめ等参照)</p>	<p>【全体として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めての試みとなった10月開催は、今年の猛暑を考えると良い時期だと感じた。 ・季節に応じて食べ物や飲み物の変更が求められた。かき氷は当日の気温に左右し実際に売り上げが伸び悩んだ。温かい食べ物や飲み物も考えておく必要がある。 <p>【受付について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正面入り口横の配置では受付してすぐに屋内へ入る動線が出来てしまう。受付の位置を西側(ひばり駐車場)に移動すれば、バギーなどが通る道も確保できるのではないかな。それに伴い飲食スペースのテントの位置の検討も必要となる。 <p>【飲食ブースについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売ブースも盛り上がっていたので来年以降はキッチンカー等の外部の販売店を増やしたい。(スタッフの準備や人員配置の負担軽減にもなるのではないかな。) <p>【屋内ブースについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年以降もチャリティーの作家さんを募集してみる。(値段設定がされている方が購入しやすいとの意見もあった) ・フェイスペイントやバルーンアートなどを写真に撮れるフォトスポットを設置する。 ・屋内ブースのスタッフや外部のアーティストの方の休憩については、なかなか休憩に入れなかったとの声もあったが、各ブースの担当者が管理して休憩の時間を確保できると良い。 <p>【ステージについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージイベントの出演者を早めに検討をして、綿密な打ち合わせが出来ると良い。 ・ZOOMでもよいので、顔を合わせて打合せをする機会を持つことが必要と感じた。 ・事前に手話の動画をご利用者様に送っていたこともあり、一緒に手話ソングを楽しむことができたのは良かった。これを毎回行うことで、うりずん恒例の手話ソングとして定着させると、たくさんの人に覚えてもらえるのではという声も聞かれた。 ・地域に開かれたイベントにしていくにあたり周辺の小中学校の生徒さんにもお声をかけていく。(晃陽中学校吹奏楽部やダンススクール等) <p>【来年に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年以降は地域に開かれたイベントになる予定なので、屋外・屋内に自由に動くことのできる看護師を配置しご利用者様への配慮を強化する。 ・模擬店や販売ブースのテントの配置などを見直し、屋外の通路、動線を確保するなど対応する。 ・ボランティアの人数を増やし、イベントブースはボランティアの方々を中心をお願いしスタッフはご利用者様へ支援に入る体制を考えていきたい。 ・屋内担当と舞台担当を同じスタッフにしてしまうと状況把握が難しいため、舞台担当は舞台とタイムキーパーをできると良い。屋内担当に関しては、屋内ブースのスタッフの誰かに、屋内リーダーをお願いすると良い。
--	--

<p>担当者名</p>	<p>須藤 裕美 菊地 英子 小島 麻紀 高橋 陽子</p>
-------------	---